

私の地元は愛知県で、普段は農業とは無縁の生活をしています。農業の体験ができるのは大学生の今しかないと思ったため、愛媛県伊方町の活動に参加することに決めました。まず伊方にきて一番に感じたことは街が静かなことです。自然が多く、空気も綺麗で鳥の鳴き声が聞こえることに驚きました。

各地から集まったボランティアは同期も多く、6か所の受け入れ農家に分かれ、毎日朝7時半から夕方18時頃までみかんの収穫や選果作業を行っています。普段当たり前のように食べているみかんは農家さんたちの努力の結晶であり、この活動を通じ、手に届くまでにこんなにも手間と時間がかかっていることが分かりました。作業の合間に10時と15時に小休憩がありますが、それは私の楽しみの一つとなっています。コーヒーやお菓子を用意してくださり、農家さんとお話をする事ができるのですが、そこでは農家さんの悩みやこのプロジェクトにかける思い等を聞くことができ、そこでも農家さんとの絆を深めることができます。中長期ボランティアでインドネシアから来ている子が帰ってしまう前日、農家さんと仲間達とお別れ会をしました。一人ひとりの思いを伝える場面では、どの農家さんからも愛されていた様子がうかがえました。言葉の壁は関係ないんだということに気付かされました。

一番嬉しかったことは、先日お世話になった農家さんからいただいた言葉です。私が箱詰めをし、出荷されたみかんがお客様に届き、その方々がレビューを書きくださったのを農家さんが共有してくださいました。どの農家さんも毎日感謝の言葉を伝えてくださいますが、私が行った仕事が直接お客様の手元に届いたこと、そしてそれに対する評価があったことがとても嬉しく、やりがいを感じました。

今回の活動では、直接言葉で伝えることの大切さと温かさを知ることができたと感じています。だんだんメンバーも増え、共同生活が賑やかになった分、大変な面もありますが、残りの期間も楽しく一生懸命農家さんと共に活動を行い役に立ちたいと思います！

